

第6学年 社会科 学習指導案

1. 小単元名『新しい日本の歩み』

(教科書：『小学社会 6 上』 p. 134～145／学習指導要領：内容（1）ケ)

2. 小単元の目標

○戦後の日本の国づくりについて関心をもち意欲的に調べることを通して、戦後の日本が平和で民主的な国を築き、国際社会で重要な役割を果たすようになり、国民生活も向上したことについて理解することができるようにする。

○戦後の復興と経済成長による成果と問題について、人々の願いや努力と結びつけて考え、これからの日本の国づくりについて、ワークシートやノートに自分の考えを書くことができるようにする。

3. 小単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料活用の 技能	社会的事象についての 知識・理解
終戦直後と現在の暮らしを比較することで、戦後進められてきた国づくりや人々の暮らしの変化について興味をもって調べようとしている。	戦後の平和で民主的な国づくりと人々の暮らしの変化について、ワークシートやノートに自分の考えを表現している。	終戦直後の人々の願いや、その実現のために国民が続けた努力について、資料を効果的に活用したり聞き取り調査をしたりして調べている。	戦後の民主的な国づくりの特徴や国際的地位の向上、多くの国民の努力による生活の向上について理解している。

4. 指導にあたって

(1) 児童の実態

子どもたちの大半は歴史学習が好きである。その理由の一つは、歴史上の事象はドラマチックであり、魅力ある人物が登場するからだと考える。そこで、これまでの学習の中に登場した人物やその時代を象徴する出来事をワークシートやノートにまとめる活動を通して、時代ごとに進められてきた国づくりを点ではなく線で考えることに取り組んでいる。

本単元では、戦後復興の事実秘められた人々の願いや意味、多くの人々の努力によって現在の平和で豊かな日本があることについて調べ、戦後の国づくりについて考えさせたい。また、経済成長期に生まれた新たな問題をとらえ、これからどのような国づくりを目ざすべきかについて、これまでの歴史を振り返り、自分の考えをまとめ表現する力を培いたい。

(2) 教材について

戦後の復興についてはたくさんの写真や統計資料があり、家族や地域の方からも聞き取り調査が可能である。そこで、導入段階では地元徳島の阿波踊りの復活について調べ、終戦直後の人々の願いをつかませることにした。また、復興期に様々な分野で活躍した人物を取り上げ、国民の不断の努力

によって国民生活が豊かになり、国際社会においても重要な役割を果たしてきたことを共感的に理解させたい。

(3) 指導上の工夫・留意点

終戦直後と現在との比較から、学習問題「戦後、人々はどのようにして復興し発展してきたのだろう」をつくり、問題解決的な学習を進める。人々の願いの実現を「民主的な国づくり」「国民生活の向上」「国際的地位の向上」といった観点で調べ確かめる。そして、高度経済成長期に人々が抱いていた「成長は果たして進歩なのか」という疑問を取り上げ、話し合う場面を設定することで、高度経済成長の成果と問題について多面的に考え、これからの国づくりのあり方について考えをまとめ表現する力を培いたい。

5. 小単元の指導計画（総時数7時間）

時	ねらい	○学習活動	◎使う資料 ◇留意点 ◆評価
① (つかむ)	終戦直後の人々の暮らしと高度経済成長期の様子とを比較し、学習問題をつかむことができるようにする。	○終戦直後の写真と高度経済成長期の写真を比較し、気づいた点や疑問点を出し合って学習問題をつくる。 戦後、人々はどのようにして新しい日本を築いてきたのだろうか。	◎「青空教室」「買い出し列車」「焼け跡」「終戦直後の阿波踊り」の写真と「東京オリンピック」や「大阪万博」の写真 ◇終戦直後と高度経済成長期の様子を比較することで、「なぜ、このように暮らしが向上したのか」といった思いから、学習問題をつかむことができるようにする。 ◆写真を比較し、自分なりの学習問題をつくることできる。 (関・意・態/発言・ノート)
② (予想・計画)	自分の予想に基づいて、調べる観点を整理することができるようにする。	○前時につくった学習問題を確認し、自分なりの予想を立てる。 ○予想を分類・整理することで、調べる観点を決める。	◇人々の願いや思いをもとに分類することにより、「民主的な国づくり」「豊かな暮らし」「国際的地位の向上」の三つの観点を調べるようにする。 ◆学習問題について予想し、調べる観点を決めることできる。 (関・意・態/発言・ノート)

<p>③ (調べ・確かめる)</p>	<p>戦後の様々な改革について調べ、民主的な国づくりがどのように進められたか、理解することができるようにする。</p>	<p>○「日本国憲法の制定」を手がかりにして、「民主的な国づくり」の実現のために行われた改革について調べまとめる。</p>	<p>◎「投票する女性」の写真 ◇「投票する女性」の写真を導入資料に、戦後の様々な改革や憲法について調べることができるようにする。 ◆日本国憲法に基づく民主的な国づくりがどのように進められたかについて理解している。 (知・理/発言・ノート)</p>
<p>④ (調べ・確かめる)</p>	<p>高度経済成長による人々の暮らしの変化について調べ、多くの国民の努力によって国民生活が便利で豊かになってきたことについて理解することができるようにする。</p>	<p>○「三種の神器」等、暮らしの変化を手がかりにして、「豊かな暮らし」の実現のために行われた多くの国民の努力について調べまとめる。</p>	<p>◎「昭和30年代の暮らし」の写真 ◇「昭和30年代の暮らし」の写真を導入資料に、生活の向上のための多くの国民の努力について調べることができるようにする。 ◇当時の社会問題「公害問題」「交通問題」「過疎問題」等にも触れ、成長のマイナス面にも目を向けさせる。 ◆多くの国民の努力によって、国民生活が便利で豊かになってきたことについて理解している。 (知・理/発言・ノート)</p>
<p>⑤ (調べ・確かめる)</p>	<p>日本がどのように独立を回復したか調べ、国際社会での地位の向上の流れについて理解することができるようにする。</p>	<p>○「サンフランシスコ平和条約」「東京オリンピック」「大阪万博」を手がかりにして、「世界に認められる日本」の実現の流れについて調べまとめる。</p>	<p>◎「東京オリンピック」や「大阪万博」の写真 ◇「東京オリンピック」や「大阪万博」の写真を導入資料に、日本の主権回復から国際社会での地位の向上の流れについて調べることができるようにする。 ◆日本がどのように国際社会での地位を向上していったかについて理解している。 (知・理/発言・ノート)</p>

⑥ (広げ深める) 【本時】	高度経済成長によって日本は進歩してきたといえるかどうか話し合うことを通して、高度経済成長期の成果と問題を多面的に考え、これからの国づくりのあり方について考えることができるようにする。	○「高度経済成長は、果たして進歩といえるのか」について、成果と問題の両面から話し合う。	◎当時の新聞記事 ◇豊かな暮らしと公害・環境問題や農業の衰退等との関係について話し合い、より多面的にとらえることができるようにする。 ◆高度経済成長の成果と問題について、根拠をもって自分の考えを主張したり、文章に表現したりしている。 (思・判・表/発言・ノート)
⑦ (広げ深める)	これからの日本の国づくりについて、自分の考えをまとめることができるようにする。	○解決されていない課題を調べ、これからの国づくりについてワークシートにまとめる。	◇アジアの国々との間にある課題を示し、よりよい関係づくりについて考えることができるようにする。 ◆これからの日本の国づくりについて、自分の考えをワークシートにまとめている。 (思・判・表/ワークシート)

6. 本時の指導（第6時）

(1) 本時のねらい

高度経済成長によって日本は進歩してきたといえるかどうか話し合うことを通して、高度経済成長期の成果と問題を多面的に考え、これからの国づくりのあり方について考えることができるようにする。

(2) 本時の展開

時配	○学習活動 T: 発問 C: 児童の反応	◎使う資料 ◇留意点 ◆評価
5	○前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。 C: (振り返り) 戦後、我が国は民主的な国家として発展し、多くの人々の努力により復興して生活の向上を遂げ、国際社会の中でも認められる役割を果たしてきた。 T: この曲は何だか知っていますか。 そう、これは大阪万博のテーマ曲です(写真を見せる)。この曲の印象はどうですか。なんだか明るくて希望に満ちていますね。この曲がテーマ曲だった大阪万博のテーマは「人類の進歩と調和」でしたね。ところで、この2枚の写真を覚えていませんか。	◎大阪万博のテーマ曲, 写真 ◎終戦直後の阿波踊りの写真, 大阪万博での阿波踊りの写真

	<p>T: (終戦直後の阿波踊りの写真と、大阪万博で行われた阿波踊りの写真を見せて) この2枚の写真を比べて、日本がどのように変化してきたことが分かりますか。</p> <p>C: 本当に自由になった。この平和がいつまでも続いてほしい。すごく豊かで便利になった。</p>	
15	<p>○これまでの学習を根拠に、「高度経済成長は果たして進歩なのか」について話し合う。</p> <p>T: 高度経済成長によって日本は進歩してきたと思いますか。</p> <p>C: 進歩してきたと思う。</p> <p>T: ところが、大阪万博が開かれていた当時、国民の間で、ある議論が起きていたようです。この新聞記事を見てください。「高度経済成長は果たして進歩なのか」という疑問が生まれたそうです。</p> <p>今日は、当時話題になった疑問、「高度経済成長は進歩といえるか」について、考えてみましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>高度経済成長は、果たして進歩といえるのか考えよう。</p> </div> <p>T: ワークシートを配るので、この問題について、あなたの主張を書いてください。</p> <p>T: (記入後) それでは、あなたはどうか発表してください。</p> <p>C: 収入も増えて、豊かな暮らしができるようになったから、進歩だと思う。</p> <p>C: 新たな問題も生まれたから、進歩とはいえないと思う。</p> <p>T: 二つの立場が出ましたが、自分はどちらの立場なのか、名札(マグネットシート)を黒板に貼りに来てください。</p> <p>T: それでは、どうしてそのように考えたのか、発表してください。</p> <p>C: 何もない焼け野原の時代からすれば進歩だといえる。</p> <p>C: 公害問題や農業の衰退の問題があるから進歩とはいえない。</p>	<p>◎当時の新聞記事</p> <p>◇高度経済成長期に生まれた疑問「高度経済成長は果たして進歩なのか」について、考え話し合うことを確認する。</p> <p>◇根拠を明確にした主張を書くことで、自分の考えを友達に分かりやすく伝えることができるようにする。</p>

<p>20</p>	<p>○高度経済成長期に生まれた問題をどのように解決すれば、進歩といえるのか話し合う。</p> <p>T: 高度経済成長期には公害問題が出ましたが、日本にとって、公害問題はこの時が初めてなのでしょうか。</p> <p>C: 明治時代に足尾銅山の鉱毒事件があった。田中正造が活躍した。</p> <p>T: 足尾銅山鉱毒事件について、田中正造がどのようなことをしたのか、説明してください。</p> <p>C: 日本初の公害事件で、田中正造が国会で何度も訴えたが、政府が十分な対策をとらなかったため、被害はその後も続きました。</p> <p>T: 高度経済成長期の公害はどうなったのでしょうか。</p> <p>C: 公害で苦しむ人が出てきてもすぐに対応しなかった。多くの人の訴えで、公害対策基本法ができたり、環境庁ができたりした。でも、今でも苦しんでいる人がいる。</p> <p>T: どのような国になることが進歩だといえますか。</p> <p>C: 暮らしが豊かな国・経済が発達した国・平和で幸福を感じられる国・人や環境にやさしい国</p> <p>T: 高度経済成長期に生まれた問題をどのように解決すれば、進歩といえるでしょう。</p> <p>(班での話し合い)</p> <p>C: 公害を起こさずに豊かな暮らしができるようにする。</p> <p>T: 高度経済成長から40年たった現在の日本は、本当の進歩を手に入れているのでしょうか。</p> <p>C: そうとは言いきれない。</p>	<p>◎田中正造の写真</p> <p>◇少人数(班)での話し合いの時間を設けることで、考えがまとまらない子どもや発言の苦手な子どもが話し合いに参加できるようにする。</p> <p>◇公害問題について、足尾銅山鉱毒事件の田中正造の取り組みを振り返ることで、人権を尊重する取り組みの大切さに目を向けることができるようにする。</p> <p>◆高度経済成長の成果と問題について、根拠をもって自分の考えを主張したり、文章に表現したりしている。</p> <p>(思・判・表/発言・ノート)</p>
<p>5</p>	<p>○「高度経済成長は果たして進歩なのか」について、自分の考えをノートにまとめる。</p> <p>T: 話し合いを通して、「高度経済成長は、果たして進歩なのか」について、自分の考えを書きましょう。</p> <div data-bbox="268 1585 970 1809" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(例)</p> <p>・はじめは、進歩ではないと思っていたけど、□□さんの△△という意見を聞いて、私も■ ■と思うようになりました。</p> </div> <p>T: 振り返り文を発表してください。</p>	